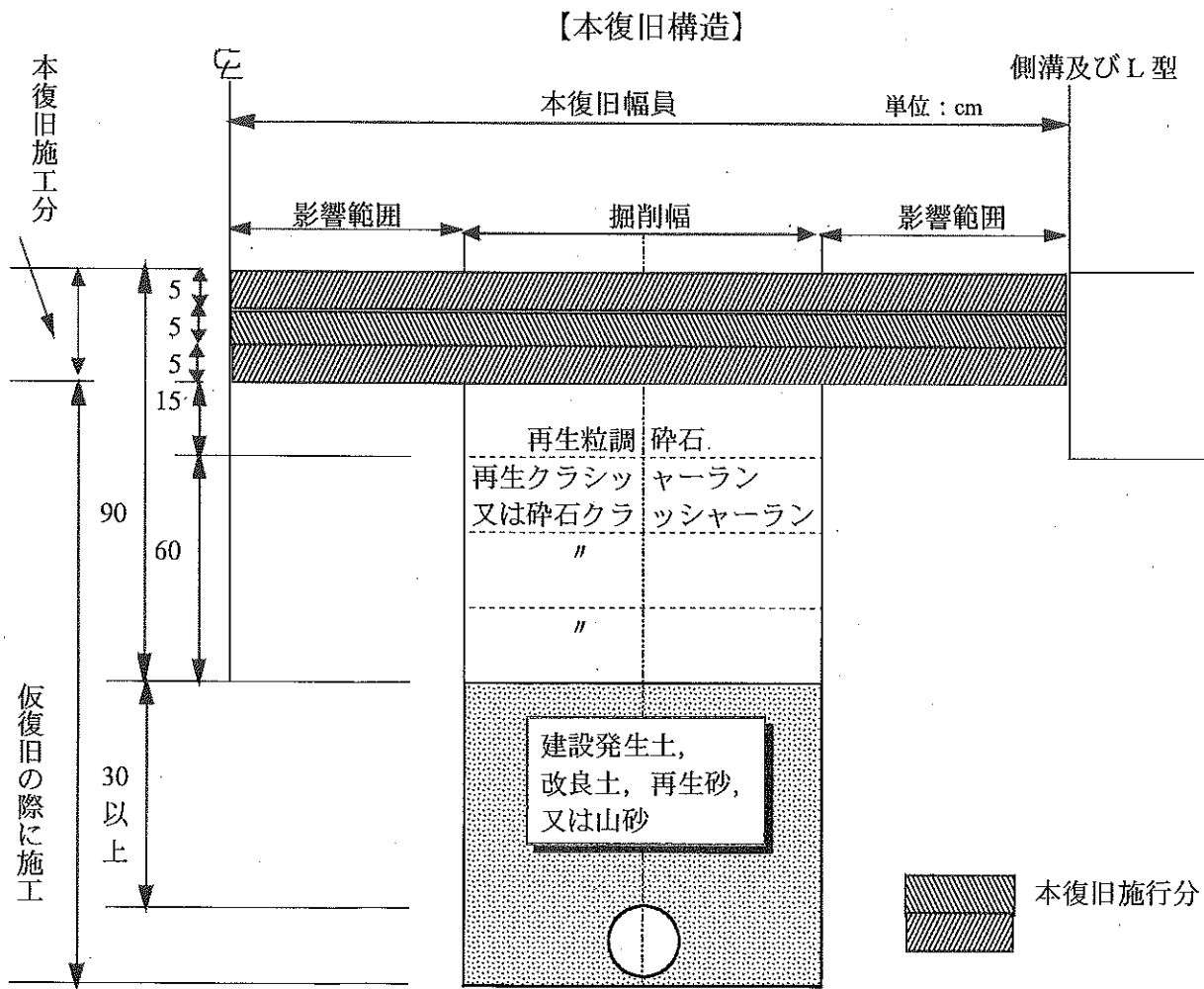


(3) 設計構造【C】(交通量区分 N6)

CBR 3 交通区分・・・C交通 H=90cm TA=35.25				
名称	仕上厚	材名, 規格, 条件	密度	TA
アスファルト表層工	5cm	密粒度改質最大粒径 20mm	2,350	5.0
アスファルト中間層工	5cm	粗粒度アスコン最大粒径 20mm	2,350	5.0
アスファルト基層工	5cm	粗粒度アスコン最大粒径 20mm	2,350	5.0
上層路盤工	15cm	再生粒調碎石 40mm 修正 CBR80 以上	2,100	5.25
下層路盤工	60cm	再生クラッシャーラン 40mm 修正 CBR30 以上	2,040	15.0
計	90cm		(kg/m ³)	35.25



(注) 1. 本復旧幅員は掘削箇所の当該車線幅員(路肩を含む)とする。
 2. 舗装復旧の影響範囲については、別図1と2及び別記1により、各事務所で決定する。
 3. 電線、水管、ガス管又は下水道管を道路の地下に設ける場合における埋設の深さ等については、平成11年10月20日付道維第20号の2の通知の基準に従って行うこともできる。
 (参考) CBR=地盤試験の一つで路床土支持力比を示す、H=舗装厚、TA=等値換算厚

【仮復旧構造】

単位：cm

